

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあつては名称) 関東電化工業株式会社	住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒 100-005 東京都千代田区神田淡路二丁目105番地
----	---------------------------	----	---

本票作成 部署名： 関東電化工業株式会社 水島工場 安全環境保安部

主たる業種	分類コード	16	業種名： 化学工業
-------	-------	----	-----------

事業の概要 電池材料やエッチングガス等のフッ素事業と苛性ソーダや有機溶剤等の食塩電解事業

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	水島工場	倉敷市松江四丁目4番8号

特定事業者の該当要件  ①燃料等原油換算1,500kℓ以上  ②バス・トラック100台、タクシー250台以上  ③CO<sub>2</sub>換算3,000t以上  
(●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 26 年度)	(平成 30 )年度排出量	目標年度(令和 元 年度)
	144,256 t CO <sub>2</sub>	143,217 t CO <sub>2</sub>	144,034 t CO <sub>2</sub>

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 30 )年度排出量
	①	水島工場	143,217 t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>

削減目標の達成状況	計画期間：	平成 27 年度	～	令和 元 年度	( 5 箇年度)
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	( 30 )年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	4.6 %	5.0 %	<input type="checkbox"/> 達成	<input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産数量	原単位当たり排出量		
		基準年度	( 30 )年度	目標年度
		1.628 t CO <sub>2</sub> /( t )	1.553 t CO <sub>2</sub> /( t )	1.546 t CO <sub>2</sub> /( t )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 30 年度)	達成率等
指標の状況	ソーダ工業	3.22 GJ/t 以下	3.3 GJ/t	97.6%

【削減状況の自己評価】

新規製品や生産量が増加している製品があるが、それらにおいて工程の改善改良が現在はまだ過渡期であるため、原単位当りの排出量を削減できなかった。

**【推進体制】**

- ・省エネ法に基づき、エネルギー管理統括者及び企画推進者を選任し、エネルギー管理体制を整備
- ・エネルギー管理者が中心となり、工場での省エネルギー活動を推進
- ・省エネルギー、温室効果ガス削減に関しては、本社安全環境保安委員会で決定したRC計画に基づきEMSに則り工場の目的目標に反映

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
水島工場	<p>(2018年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食塩電解槽を、運転電圧の低減により電力原単位が工場する機種に順次更新（推定で1,178MWh/年削減）。</li> <li>・食塩電解槽を温水にて加熱することにより、電解槽の効率を上げ、電力量を削減。</li> <li>・蒸気トラップ全数を点検し、修理等を実施することで蒸気ロスの削減。</li> </ul> <p>(今後実施予定分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電解濃縮工程への水素ボイラー導入（2019年9月末予定）</li> </ul>

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

--